

(結果公表様式)

湯の丸高原施設整備基本構想（案）に対するパブリックコメントの結果について

1 募集の概要

件名	湯の丸高原施設整備基本構想（案）
意見の募集期間	平成27年2月25日（水）～3月29日（日）
意見の受付方法	電子メール、ファックス、郵送、担当窓口へ直接
意見の周知場所	市ホームページ、市報とうみ、広報お知らせ版、FMとうみ、市役所本館、市民ラウンジ、北御牧庁舎、総合福祉センター、中央公民館、市立図書館、滋野コミュニティーセンター、祢津公民館、和コミュニティーセンター
結果の公表場所	市ホームページ
提出状況	(1) 提出者数 13人 (2) 提出意見数 31件（延べ数）
実施機関	東御市総務部企画財税課企画政策係 電話：0268-64-5893 ファックス：0268-62-5040 電子メール：kikaku@city.tomi.nagano.jp

2 ご意見の提出状況と対応区分

区分	内容	提出者数	意見数
A	ご意見の趣旨が既に反映されているもの	3/13	3
B	ご意見を反映させるもの（または修正したもの）。	1/13	2
C	ご意見を反映することはできないが、今後の参考とするもの	11/13	20
D	ご意見を反映できないもの ・法令等で規定されており、市として実施できないもの ・実施主体が市以外のもの ・市の方針に合わないものなど		
E	その他のご意見（質問、感想等）	2/13	6
	計	延17実13	31

3 ご意見の内容と市の考え方について

番号	意見の内容・要旨	市の考え方	反映区分
1	<p>①パブリックコメントについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本構想への意見を求めるのは何故か ・意見の公開については、全件公開すべき 	<p>今回の構想は、湯の丸高原全体の観光資源に磨きをかけ中長期の視点で施設整備を進めるための基本構想です。</p> <p>湯の丸高原全体の利活用の観点から市民の皆様のご意見をお聞きしたものであります。</p> <p>本文中「現状と課題」に中間部に掲載しておりました「観光客数の減少」を移動し、基本条件の整理とし、構想策定の目的等をわかりやすくしました。</p> <p>いただいたご意見は、できるだけ公開とさせていただきます。</p>	B
	<p>②パブリックコメントについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関連諸施設の建設費、運営費、国、県、市の負担額等が不明確な段階で、市民判断はできない ・費用負担等、内容が明確になったら、パブリックコメントを徴するように願う・・・等 	<p>実際の事業実施にあたっては、国庫補助等の活用による負担軽減に努めるとともに、まちづくり審議会の答申のとおり、費用対効果の検証及び財政負担の観点から精査を尽くし、費用負担等明確になりましたら、改めてご議論を深めていただくよう、お示ししてまいります。</p> <p>なお、高地トレーニング用プールにつきましては、後段のとおり、国に設置を働きかけているものです。</p>	C
2	<p>①基本構想全般について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美しい市前環境の中に構造物は極力設置すべきでない ・財政を考慮して簡素な施設せよ ・施設整備にあつては、自然への配慮と調和とをもって推進されたい 	<p>希少な自然環境を保護すべく、保護ゾーンの設定や造成を極力抑える等、利活用と保護との調和を図りながら推進することとしています。</p> <p>また、維持管理費用を極力抑えるべく、持続可能な施設計画の検討を行うこととし、諸施設の整備にあたっては、地元の負担を抑えるため、国庫補助等の積極的な活用を検討しています。</p>	A

	<p>②基本構想全般について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的に新規施設を整備せずに、既存施設の修復改善に留めよ 	<p>保護と利活用との調和を図りながら、必要な新規施設の整備と既存施設の補修改善を行って参ります。</p>	C
3	<p>高地トレーニング用プールについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般市民に負担を強いる事は極力避ける。推進責任者が最終責任を取れる運営体制を構築する ・オリンピック選手の育成は国家事業、国や日本水泳連盟が建設や運営を担当すべき ・概算事業費・運営費も実際は超過するのでは ・一般市民が利用するか疑問 ・防災・減災・少子高齢化・図書館・病院等を優先すべき ・国の予算であっても、実施すべきでない <p>・・・等</p>	<p>市では高地トレーニング用プールの設置を、日本水泳連盟とともに国へ働きかけています。</p> <p>管理運営につきましては、「市営」ではなく「協営」の考え方を機軸に、利益を得るもの同士が応分の負担をシェアすることを提案しています。</p> <p>施設誘致と、運営方法が具体化すれば、当市の応分の負担とは何か、防災・少子高齢化対策等の他の重要施策と調和を図ることを当然として、十分な検討を行ってまいります。</p>	C
4	<ul style="list-style-type: none"> ・プランニング自体はよいと思う ・トイレその他具体的施設整備へのご質問・ご要望・・・等 		E